

会議録	
名称	令和元年度 5 月 富士見市図書館協議会
開催日時	令和元年 5 月 11 日（土）午前 10 時 00 分～12 時 00 分
場所	中央図書館レセプションルーム
出席者	<p>○図書館協議会委員 渡辺志津子委員長 小森和雄委員（職務代理者） 木村多喜雄委員 佐藤千枝子委員 渋谷八重子委員 関根衣都美委員 長ヶ原美博委員 本間雄一委員</p> <p>○教育委員会生涯学習課 深迫課長 松田副課長 古川主査 石井主任</p> <p>○図書館 原田中央館館長 相澤館長補佐 神山副館長 池田鶴瀬西分館長 長谷川鶴瀬西分館アドバイザー 下川ふじみ野分館長</p> <p>○指定管理者 紀伊國屋書店公共図書館部 今井 宮本 青崎</p>
欠席者	山崎美晴委員（平成 31 年 3 月末にて市校長会退任）
公開・非公開	公 開
傍聴	なし
次第	<p>○報告・連絡事項</p> <p><input type="checkbox"/>平成 30 年度年間事業報告及び平成 31 年 3 月～4 月事業報告 （中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館）</p> <p><input type="checkbox"/>図書館協議会からの提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 3 次富士見市子ども読書活動推進計画における学校図書館について ・映像資料について <p><input type="checkbox"/>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回以降の日程の確認
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会 5 月定例会次第 ・平成 30 年度富士見市立図書館年間利用報告 ・平成 31 年 3 月～4 月事業報告（中央図書館・鶴瀬西分館・ふじみ野分館）

	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見市における図書館運営改善に資する提言（案） ・令和元年度富士見市図書館協議会開催予定（案） ・入間地区社会教育広報「さわらび」 ・富士見市立図書館広報誌『さざなみだより』ほか
会議録確認	渡辺委員長
議事内容	
1 開会	（神山副館長）
2 新任担当者あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課 深迫課長、石井主任 ・中央図書館 相澤館長補佐 ・鶴瀬西分館 池田分館長 ・紀伊國屋書店公共図書館部 今井部長
3 委員長あいさつ	（渡辺委員長）
4 各館から平成 30 年度年間事業報告及び平成 31 年 3 月～4 月事業報告	
<中央図書館>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告。特にあいさポーター研修、ぬいぐるみおとまり会について説明。 ・年間利用統計について。中央図書館だけでなく分館の利用も対平成 28 年度比で増加傾向にあり、中央図書館の改修工事が富士見市立図書館全体の利用を促進していると考えられる。
<鶴瀬西分館>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告。特に回想レクリエーション、絵本で朗読劇について説明。 ・つるせ台小学校と鶴瀬小学校の新 1 年生や転入生に利用カードを作成した。今年度はつるせ台小学校 1 年生の児童数が前年より多く、利用登録者が伸びた。
<ふじみ野分館>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき報告。特にふじみ野交流センターとの協力事業の強化、カフェ・トーク、かんたんかわいい手形アート、「ぶんちゃんひろば」について報告。 ・平成 30 年度はふじみ野交流センターの改修工事が行われたが、交流センターの協力もあり、事業等を大幅に減らすことなく実施ができた。
【質疑応答】	
	<p>委員：平成 30 年度富士見市立図書館年間利用統計について。貸出点数の中に雑誌も含まれているとのことだが、雑誌の利用規定や保存年限はどのようなになっているのか。</p>

図書館：利用の制限としては、最新号は館内閲覧のみとしている。保存年限は、週刊誌が6ヵ月、月刊誌が2年としている。

委員：学校司書研修会について。どのような内容か。また、前回聞き取りしたこと以外で学校司書から要望や困っていること等があったか。

図書館：学校教育課から学校司書の業務について全般的な説明があり、その後図書館から団体利用についての説明等を行った。学校の改修工事に伴い、学校図書館の資料の移動や箱詰め作業を行う学校が2校あるとのことだったので、作業方法等、困ったことがあれば図書館にご相談くださいと案内した。

委員：改修工事による学校図書館の資料移動のために、学校司書の勤務時間追加はないということだが、できれば予算や時間をフォローできるとよいのではないか。

生涯学習課：具体的にはどのような作業に対する予算か。

委員：学校司書が通常業務を行いながら、資料の管理や移動も行うのは難しい。作業の補助要員を入れる、通常の勤務時間とは別枠で学校司書を雇う等ができるとういのではないか。

生涯学習課：生涯学習課ではそのような作業に対する予算には直接関与はできない。今年度すぐにというのも難しい。

委員：来年度以降、改修工事が決まっている学校があれば、生涯学習課や学校教育課で情報共有し、学校司書をサポートする提案ができるとよいのではないか。

委員：年間の団体貸出利用統計について。中央館、分館とそれぞれで統計を出しているが、市内全体での統計があるとよい。利用状況全体が把握でき、地域差やサービスの行き届いていない所が見えてくるのではないか。

委員：鶴瀬西分館のYAサポーターについて。学校の校外活動のようなものではなく、各自がボランティアとして参加しているのか。この活動をするとう学校で校外活動として認められる等何かあるか。

図書館：もともとは学校とは直接関係はないが、同様の問い合わせがYAサポーターの保護者からあり、昨年度からYAサポーターへ賞状を渡している。学校の先生がそれを目にして、生徒のボランティア活動を評価しているようだ。

委員：ふじみ野分館の研修参加で、ヤングアダルトサービス研修会とあるが、参加したのはヤングアダルトの担当者か。

図書館：そうである。

委員：富士見市立図書館はヤングアダルトサービスが弱い。鶴瀬西分館のY

Aサポーターのようなものをふじみ野分館でもできないか。

図書館：現在、図書館のイベントのサポーターとして中学生に参加してもらえないか、中学校へ打診をしているところである。

委員：子どもだけでなく、大人向けのイベントも充実してけるとよいのではないか。

図書館：鶴瀬西分館で行った朗読劇ワークショップは、当初子どもを対象と考えていたが、対象を「小学生以上」としたら、幅広い年齢の参加者が集まり、大人の参加者の方が多かった。

5 図書館協議会からの提言について

「富士見市における図書館運営改善に資する提言（案）」の概要説明。（委員長）

【質疑応答】

委員：ビデオクラブが行っている郷土視聴覚資料のデジタル化はボランティアで行っているということか。

委員：そうである。

委員：現段階でデジタル化が半分程度終了しているということなので、デジタル化した資料をどのようにして活用できる形にするのか決めておく必要がある。

委員：資料館等、図書館以外の施設にもよい郷土視聴覚資料があるが、他の施設の持っている資料の把握、一元的なリスト化はしていない。

委員：教育委員会が主体となって、デジタル化やリスト化の計画を。

委員：公共図書館が直営であれば、図書館が主体となって計画を立てることができるが、現在の状況だと図書館が行うのは難しい。資料館は市の職員であり、教育委員会の管轄であるので、資料館が管理するという方法もあるがどうか。提言の中に、「資料館等の協力も得て」というような文言を追加するか検討する。

委員：最終的には、図書館が一元管理するようにし、そのための予算や人員を確保するよう提言に追記する。

図書館：教育委員会に主体となっていただきたい。

6 その他

○令和元年度定例会開催予定について

委員：次回の協議会は、6月21日を予定しているが、この日に提言の内容が確定し、次年度の予算要求に間に合うか。

生涯学習課：秋の予算で要求をしても提言の内容に応えられるかは分からない。予算に関することであれば、7月までに提言が完成すれば対応できるも

のもあるかもしれないが、内容によって、担当する部署との調整が必要になる。

委員：次回は、6月21日（金）に開催で決定。「富士見市における図書館運営改善に資する提言（案）」に関して意見等があれば、5月31日（金）までに中央図書館へ連絡する。また、今年度は図書館協議会の開催を5回で予定しているが、あと1回は協議会を開催できるので、図書館の政策や運営に関して協議会開催の必要があれば、言ってほしい。

○富士見市協働事業提案制度事業者報告会の開催について（委員）

委員：5月16日に富士見市役所にて「富士見市協働事業提案制度」で実施された事業についての報告会がある。座敷ぼうき製作技能伝承者の育成や富士見さくらねこ応援団の野良猫の不妊手術事業等、4件の事業報告を行う。

7 閉会（渡辺委員長）